

# ミ 北斗だより

令和7年度 第11号  
(2月2日発行)  
愛媛県立今治北高等学校

## 「旅行から学べること」

2年学年主任 川本 規博

2026年になってひと月が過ぎました。みなさんいいスタートが切れましたか。昨年私は、10月に修学旅行で東京に、3月にリーダー養成短期海外研修でオーストラリアに行きました。

修学旅行は、土砂降りの中での出発でしたが、出発時の体育館にはみんなの笑顔がはじけていました。旅行先でもみんなの楽しそうな表情を多く見ることができ、私も幸せな気持ちになりました。いつもとは違う場所での貴重な体験を通して、4日間で大きく成長することができたのではないかでしょうか。いい修学旅行だったと思います。そうなった要因をあげるとすれば、

### 「健康管理、班での協力、時間を守る」

この3つだと思います。

これらは、修学旅行はもちろんのこと、毎日の高校生活の中でも大切にしていきたいですね。健康に留意して元気に学校に来る、クラスや部活動で協力してみんなで頑張る、時間に余裕をもって登校し朝読書に臨む。一人一人が意識することでいい雰囲気が生まれるので、北高生全体でこの3つを大切にしてほしいと思います。

また3月の海外研修では、短期間で成長する生徒の姿を見るることができました。慣れない場所で不安そうに過ごした前半がまるで嘘であるかのように、後半はコミュニケーションをとることが何よりも楽しい、そんな雰囲気でした。海外の高校生との交流から多くのことを学ぶことができました。またこの海外研修から帰ってきた生徒が、生徒会やクラス、部活動のリーダーとなって活動していることをうれしく思います。

来月、1年生8名がこの研修を行きます。初めてのことで戸惑うことが多いと思うが、「健康管理、班での協力、時間を守る」この3つを意識して、いろんな経験から学んできてほしいと思います。

数年前の卒業生で、1年間オーストラリアに留学した生徒の話をします。その生徒は英語でのコミュニケーションもうまくいかず、消極的になり、何のために留学したのだろうと半年間悩み続けたそうです。半年後ホストファミリーが変わり、その悩みを相談するところ言わされました。

「当たり前よ、だってあなた行動していないのだから」と。

その言葉でハッとして、それ以降何事にも積極的に取り組むようになっていきました。うまくいかなかつた会話も、「うまくいかなくて当たり前」と思うようになり自分から話しかけまくったそうです。また高校の外でのイベントも自分で探して意欲的に参加するようになり、もっとオーストラリアに滞在したいという気持ちの中、日本に帰国したそうです。

自分から行動を起こすことは本当に大切で、その中から新たな発見や成長があるのだと、私はその生徒から学びました。

旅行や研修はもちろんですが、普段の生活の中からも必ずいろいろなことを学ぶことができます。みなさんも自分から行動していきましょう。きっと大きな成長が待っているはずです。

※お気付きの点や、御意見・御質問などありましたら、下に記入の上、お子さんを通じて担任まで御提出ください。

今治北高校の日々の様子をホームページに掲載しています。「今北日記」「生徒の活動」「部活動」など、ぜひ御覧ください。

今治北高等学校 学校公式サイト <https://imabarakita-h.esnet.ed.jp>

切 り 取 り

年 組 名前 \_\_\_\_\_